GUNBOH
群　萌

第214号　2023年8月31日
発行所 全国化学労働組合総連合
〒105-0021 東京都港区東新橋2－16－1
ルーシスビル402号室
TEL　03（6452）8806
FAX　03（6452）8807
発行責任者　瓜生　泰則
編　集　者　化学総連事務局
info@kagaku-s.com

化学総連　政策活動
令和６年度化学産業施策要望項目について

2023年６月14日に開催した幹事会にて、化学総連の令和６年度化学産業施策要望項目を組織決定しました。産別組織として化学産業の持続的な発展やそこに働く組合員の雇用の安定などに向け、これらの要望項目を省庁や議員、業界団体などに対して説明・陳情していきます。

要望項目とポイント

※化学総連要望の詳細は第46回定期大会議案書に記載予定

１．化学産業の発展に資する施策について

●石油化学製品製造向け原料に係る揮発油税、石油石炭税の本則非課税化
●イノベーション推進に資する研究開発税制の継続・充実

ポイント
・現在の石油化学製品製造向け原料に免税状態（揮発油税、石油石炭税の特別措置）は化学産業の持続的発展に対して不安定要素なので**本則非課税化**を求める
・研究開発は単年だけでなく、中長期的に成果を出していくことも多いため、法人税控除の算式指標に前年との相対的指標だけでなく、**前年比較ではない指標を含める**ことを求める

２．気候変動問題におけるエネルギー施策について

●炭素賦課金における原料ナフサの対象外恒久化
●カーボンニュートラルへの意識醸成および人材育成支援
●エネルギー安全保障も含めたエネルギー転換設備への支援
●再生可能エネルギー普及に対する地域支援
●リサイクル促進支援
●高圧ガス製造保安責任者免許取得に対する施策

ポイント
・カーボンニュートラル実現に向けて、化学産業に対する投資支援や人材育成支援など**税制・投資・事業・人材に対する各種支援**を求める
・ＣＣＵＳや水素貯蔵など高圧ガス設備の導入が増えると想定し、**高圧ガス免許取得機会の増加**を求める

３．従業員が安心・安全かつ活き活きと働くための施策について

●高齢者雇用促進のための年金制度改革
●テレワークの有効活用
●働き方や健康面に配慮した副業・兼業の促進
●今後の産業保安に対する法解釈の統一化
●正確な所得の把握と公平な手当支給・控除の実現

ポイント
・**年金や手当・控除の公平性や透明性**を求める
・テレワークを生産性向上の手段として使いこなせるよう**政労使で質の高いテレワークの活用を目指す**
・働き方や健康面への配慮など企業で**正しく副業・兼業が活用できるようガイドラインの適宜反映**を求める
・産業保安向上に向け、**関係法の整備等**を求める

４．日本の未来を担う人材育成に必要な施策について

●産業発展に繋がる人材育成
●博士課程進学率向上と取得後のキャリア支援

ポイント
・働く上で必要となる分野や、日本の成長・注力分野に対して、**早期の魅力化やリテラシー向上に向けた産官学連携での取り組み**を期待する
・リスキリングについては、**社会人の再教育環境整備、企業の生産性向上や個人のキャリア形成につながるよう支援**を引き続き求める
・博士号に対する社会的価値を高めるとともに、**博士課程在籍者への経済支援策の継続的な実施**を求める

経済産業省 製造局へ要望書提出、内容説明（2023年6月27日　経済産業省にて）

吉村素材産業課長への要望書提出

要望内容を説明する下田政策局長

※要望書提出については6月29日発行の化学工業日報にも掲載されました

化学総連活動報告

【日本化学工業協会との定例情報交換会】

日本化学工業協会と定例情報交換会を実施し、日本化学工業協会からは「カーボンニュートラル行動計画」CO_2排出削減目標の見直しについてご説明いただきました。2050年のカーボンニュートラルCO_2排出削減目標を2013年度比で32％削減する新目標を目指すにあたっての取り組みをご紹介いただきました。

また、化学総連からは「令和6年度 産業/労働施策要望」検討について説明し、高齢者雇用促進のための年金制度改革やテレワークの有効活用等について、忌憚のない意見交換を行いました。

説明される半田常務理事（日化協）

説明を聞く化学総連メンバー

意見交換の様子

日　　時　2023年5月8日（月）
場　　所　日本化学工業協会 会議室
参　　加　**日 化 協**　半田常務理事、深尾常務理事、石橋部長、長瀬部長、黛職員
化学総連　瓜生会長、峯岸会長代理、河村副会長、山本副会長、森事務局長、下田政策局長、安福事務局次長

【三重地連との情報交換会】

三重地連との情報交換会を開催し、地連活動や運営に関する質問や困り事、地連活動をより活性させるためにはどうしたらよいのか、組合員への認知や参画を高めるためには何が必要か等を協議しました。

三重地連の参加者からいただいた意見は更なる地連活動強化に向けて参考にさせていただきます。

日　　時　2023年5月17日（水）
場　　所　四日市シティホテル 蘭・藤　　**参加人数**　31名

意見交換の様子①

意見交換の様子②

開会挨拶する村松委員長
（レゾナック労組）

閉会挨拶する松村委員長
（JNC 労組）

【次世代エネルギー関連施設見学】

2021年6月に続き2回目となる次世代エネルギー関連施設見学を実施しました。一つ目は量子科学技術研究開発機構 六ヶ所研究所を視察し、核融合炉に関する見学及び意見交換を行いました。

また、二つ目にバイオガスエネルギーとわだを視察し、バイオマス由来の燃料ガスを利用し、省エネ性、地産地消の向上を図っていることを学びました。

参加者からはこれらの次世代エネルギーに関連する施設を見学することで、今後のエネルギー政策に関する知見を深めることができたとの声をいただきました。

質問する加藤委員長
（三井化学労組）

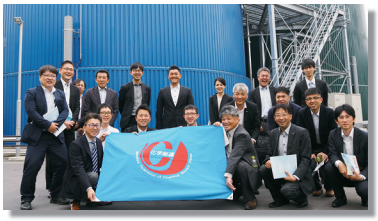
量子科学技術研究機構　集合写真

核融合について説明を受ける参加者

バイオガスについて説明を受ける参加者

バイオガスエネルギー設備見学の様子

日　　時	2023年5月25日（木）～26日（金）
参加人数	19名
場　　所	量子科学技術研究開発機構 量子エネルギー部門（青森県上北郡六ヶ所村） バイオガスエネルギーとわだ（青森県十和田市）



バイオガスエネルギーとわだ　集合写真

【2023年度第2回全国地連代表者会議】

工場説明の様子

事例紹介する臼山さん
（富山地連）

事例紹介する吉野さん
（大分地連）

第2回全国地連代表者会議を5月1日より発足したレゾナック労働組合の大町支部にて開催しました。

今回の会議では、株式会社レゾナックグラファイトジャパンの工場見学を行った後、各地連から提出いただいたテーマアップアンケート結果の共有や各地連での活動取り組み事例を発表いただきました。

また、各地連の今年度活動実績の共有や地連活動を行う中で良かった点、改善が必要な点の共有、次年度に向けて地連活動強化委員会に要望したいこと、ルールや規程見直しをお願いしたい点等についてグループディスカッションを行いました。

各地連からいただいたご意見は地連活動強化委員会を中心に議論のうえ対応したいと思います。

集合写真

グループディスカッションの様子①

グループディスカッションの様子②

日　　時	2023年5月29日（月）～30日（火）
場　　所	レゾナック労働組合 大町支部（長野県大町市）　　参加人数　28名

【第8回対馬海岸清掃ボランティア】

2019年6月に初訪問してから8回目となる対馬海岸清掃ボランティアを実施しました。今回も一般社団法人対馬CAPPAの協力を得て状況確認と清掃活動を行いました。対馬CAPPAの上野さんから海洋プラスチックの現状について説明をいただいた後、清掃活動を実施しました。

今回の海岸清掃は、当日朝の雨の影響もあり参加者の安全を考慮し、予定を変更して美津島町太田浜の海水浴場を清掃し、発泡スチロールやペットボトル、流木、漁業用ブイ・網を中心に回収を行いました。対馬の方々が近日海開きを行うため、海水浴が可能なレベルまで清掃し地域貢献につなげることができました。

日　　時	2023年6月1日(木)～2日(金)
場　　所	対馬市浅茅湾、美津島町太田浜(美津島町海水浴場)
参加人数	21名

説明を受ける参加者①

説明する上野さん（対馬 CAPPA）

ゴミが漂着する海岸を視察

海水浴場の清掃活動の様子

ゴミ仕分けの様子

清掃後の集合写真

【第10回海岸林再生ボランティア】

公益財団法人オイスカの海岸林再生プロジェクトのボランティアを開催し、今年度は9日(金)のみ全積水労働組合連合会と合同で実施しました。

日　　時	2023年6月9日(金)～10日(土)
場　　所	宮城県名取海岸
参加人数	9日(金)97名、　10日(土)49名

作業に入る前にオイスカの吉田さんより、「松の木に絡みつき光合成を妨げ、成長を阻害するクズと呼ばれるつる性の植物を取り除くという重要なミッションを行ってもらいます。」と作業の目的・内容について説明をいただき参加者の士気を高めました。

クズは根っこから除去する必要があるため、松のとげとげしい葉を避けて作業を行う必要があります。また今年度は毛虫が大量発生していたため、参加者は悪戦苦闘しながらクズを除去しておりました。全員で力を合わせて作業に打ち込んだ結果、二日間でかなりの面積のクロマツの育成に貢献することができました。

作業の目的を伝えるオイスカの吉田氏

クズ除去作業の様子

１日目作業完了後の集合写真

クズのつるに悪戦苦闘中

除去したクズを運び出す

２日目作業完了後の集合写真

【タイ労働事情調査団】

新型コロナウイルスの5類移行を受け、約4年ぶりとなる海外労働事情調査を実施しました。開催地は検討の結果、各社グループ会社を含め加盟単組の多くの会社が進出しているタイのバンコク、ラヨーンの企業や工場を訪問しました。

快晴のワット・ポー（涅槃寺）にて

タイの経済状況や国際情勢の動向はもちろん、コロナ前とコロナ後の各社の働き方や労働環境の変化、現地従業員の労働力確保の課題や離職率、残業を含めた労務管理や年休取得に対する考え方やその取得率、高温多湿であるタイでの労働環境改善に向けた対策や取り組み、現地従業員とのコミュニケーションにおける工夫点や苦労した点、現地従業員に対する工場での安全教育方法、現地駐在員の生活事情（通勤・医療体制）など様々な調査を行いました。

とりわけ調査を行った中で、日本以上に高温多湿であるタイにおいて、現地タイ人の方は汗腺の構造が日本人とは異なることもあって熱中症になっているのを見たことがないという話や、男性よりも女性の方が社会的な地位や働く意欲が高い傾向もあり結婚に魅力を感じないことが少子高齢化の進む理由の１つとなるとのことで、日本とは原因が異なる点に参加者は驚いていました。

国や地域によって、同じ課題を抱えていてもその理由が異なることもあり、海外で実際に現地の方の声を聴けて良かったと改めて感じました。労働事情調査はこれまで基本的には毎年開催していることもあって、来年度も社会情勢等を考慮しながら開催を検討したいと考えております。

BST ENEOS Elastomer 工場見学

SANYO KASEI（THAILAND）
工場見学

シラチャ日本人学校見学

JETRO BANKOK 集合写真

現地駐在員懇談会の様子

現地駐在員との集合写真

日　　時	2023年6月18日（日）～24日（土）	**場　　所**	バンコク、ラヨーン
参加人数	19名		
公式行事	BST ENEOS Elastomer訪問、SANYO KASEI（THAILAND）訪問、シラチャ日本人学校訪問、JETRO BANKOK訪問、現地駐在員懇談会＆懇親会		

【第１５回安全担当者会議】

日　　時	2023年6月29日（木）～30日（金）
場　　所	さくらホール（岩手県北上市）
施設見学	シオノギファーマ（株）金ケ崎工場
参加人数	30名

施設見学として異業種であるシオノギファーマ（株）金ヶ崎工場を訪問しました。工場の概要説明後に実際に工場内の見学を実施しました。その後、シオノギファーマ労働組合メンバーも加えて５つの班に分かれて安全の取り組みについて情報交換を行い、活発な意見交換が行われ各労組での安全活動の一助に繋げました。

また、翌日は「ゼロ災害のための心の科学 ～ヒューマンエラーを理解して労働災害を未然に防ぐ～」と題して、信州大学人文学部教授であり地域防災減災センター長も担っておられる菊池先生に講演をいただきました。

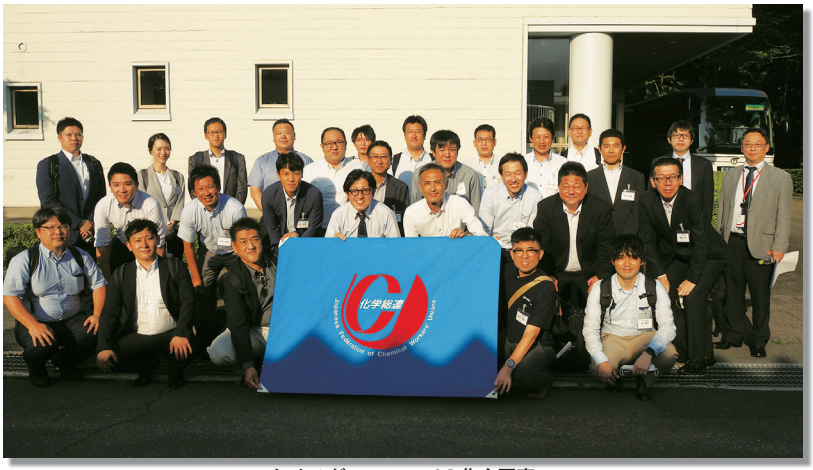
安全のための意識を高める。ルール厳守を徹底する。油断せず万全の注意を払う。これは当然のこととして、それ以上に、「人はエラーをするのが自然」であり、それを「事故につなげない」という発想が必要となります。菊池先生からは人の思い込みによるエラーを抑えることが大事で、経験に固定されない、多様で柔軟なものの見方の支援、思い込み（解釈）の意識化と見える化によって発生確率が下げられると各事例の例示も含め教えていただきました。

開会挨拶する山本委員長（デンカ労組）

質問を受ける菊池先生

工場概要説明の様子

情報交換会の様子



シオノギファーマでの集合写真

講演会の様子

講師プロフィール

災害時に人が陥りやすいリスクについての「思い込み」をふせぐために、研究と教育を進めている。人の考え方（認知）の特徴を解明して、実生活に応用していただくための認知心理学の研究に取り組んでいる。

＜研究分野＞認知心理学

大学での講義の他、新聞・書籍等の執筆を行っている。

菊池　聡 氏
信州大学　人文学部教授

【第104回調査担当者会議】

2023春季労使交渉に関する情報交換等の他、2024年度テーマアップアンケート共有、労働条件基本台帳の改善点を共有し、質疑応答も含めて活発な議論が行われました。

本交渉では原材料・エネルギー価格の高騰をはじめとした急速な物価上昇やウクライナ危機など私たちの取り巻く環境は厳しさを増すなかで、政界や経済界も含めた賃上げ機運が高まったこともあり、多くの加盟単組が賃金改善を含むベースアップを要求しました。結果として、各単組において金額差はあるものの多くの加盟単組でベースアップを勝ち取ることができました。

また、2023春季労使交渉の付帯要求事項については扶養手当の廃止に伴う子供手当の見直しやキャリア見直しのための相談を行うキャリア相談室の新設等が要求され他単組の関心を引いておりました。

施設見学はエネルギー政策委員会のメンバーとともに、新さっぽろエネルギーセンターを視察しました。天然ガスを燃料とする「CGS(コージェネレーションシステム)」で発電された電気は街全体の照明等に利用され、発電時に発生した熱を冷暖房等に有効利用しています。また、最新のAIを活用した地域エネルギーマネジメントシステム(CEMS)でCGS等を効率よく運転し、街のエネルギーの最適化に貢献されています。

施設概要説明を受ける参加者

中央制御室での説明

配管はわかりやすく表示

開会挨拶する大熊委員長
(積水化学労組)

アンケート結果を説明
する下田政策局長

日　　時	2023年7月5日(水)～6日(木)
場　　所	TKPガーデンシティPREMIUM札幌大通
施設見学	新さっぽろエネルギーセンター
参加人数	22名

会議の様子

【イノベーションワークショップ】

日　　時	2023年7月11日(火)		
場　　所	TKP東京駅カンファレンスセンター	参加人数	15名

2023年度イノベーションワークショップを開催し、「サーキュラーエコノミーの概要と最新動向」と題して、サークルデザイン株式会社 代表取締役 那須氏に講演いただきました。

サーキュラーエコノミーは、モノやサービスから最大限の経済的・社会的価値を引き出し、その価値をできるだけ高く維持し、長く利用することを実現する社会経済システムで、廃棄と汚染という概念をなくす設計を施すことで、優先順位に沿って利用され製品としての寿命を迎えた際に、原材料を容易に使い続けられるようなシステムの構築を目的としており、EUや日本での事例紹介も交えて丁寧にご説明いただきました。

また、講演後に分科会を開催して、各社における研究開発活動活性化の取り組みやカーボンニュートラルへの取り組みについて情報交換を行いました。各社各様の新しい取り組みは非常に興味を惹かれる内容が多く質疑応答は懇親会まで続いておりました。各社の取り組み事例は、各単組で情報共有いただき会社との労使協議等でご活用いただければと考えております。

化学総連活動概要について説明する下田政策局長

会場の様子

講演する那須氏

分科会での情報交換（A グループ）

分科会での情報交換（B グループ）

分科会での情報交換（C グループ）

講師プロフィール

米DePauw大学卒。教育関連企業、経営支援団体を経て、サーキュラーエコノミーに特化した共創・リサーチ・研修業務などを行うサークルデザイン株式会社を2020年7月に設立。2004年に実施したエクアドルでのコミュニティ紛争のフィールドワークをきっかけに、環境再生と人間のウェルビーイング向上の同時追求に関心を抱き、後にサーキュラーエコノミーを追求・推進するようになる。また、Circular Economy Hub 編集長（ハーチ株式会社運営）、一般社団法人日本サステナブルサロン協会理事、サステナブルジャパンプロジェクトタスクフォースメンバーなども務める。

那須 清和 氏

【2023年度第3回書記長・事務局長会議】

「三井化学の働き方改革における副業制度の取り組み」と題して三井化学労組の高橋書記長、また「社内副業（ジョブチャレンジ）について」と題してAGC労組の岩田事務局長よりそれぞれ副業制度についての事例を紹介いただきました。その他、2024年度に向けたテーマアップアンケートの共有と2023年度の活動予定について共有を行い、副業制度に関しては社外業務を含める事例と社内業務に限定した事例をご紹介いただき、その他労組における本取り組みや質疑応答も含めて活発な議論が行われました。

海岸清掃は、函館市のご協力の下、函館市大森浜海岸の清掃活動を行いました。7月上旬にも函館市主導のもと海岸清掃が行われたためゴミは少ないと聞いておりましたが、参加者の精力的な活動もあり多くの漂着ごみを回収することができました。

日　　時	2023年7月19日（水）～20日（木）
場　　所	函館国際ホテル　東館２階「アクアマリン」
参加人数	20名
海岸清掃	大森浜海岸

会議の様子

開会挨拶する
峯岸会長代理

事例紹介する高橋書記長
（三井化学労組）

事例紹介する岩田事務局長
（AGC労組）

ゴミ仕分けの様子

清掃ボランティア集合写真